確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

専修学校　育成保育カレッジ学院

課 程 名	学 科 名
教育社会福祉専門課程	こども文化学科　（昼間部）
	こども幼児科　（夜間部）

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専修学校　育成保育カレッジ学院
設置者名	仲村　義明

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、２月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 原則として、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表する予定。 公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度４月を目途とする)

授業計画書の公表方法	シラバスを職員室に設置している。

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規定に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを優（80～100 点）・良（70～79 点）・可（60～69 点）と評価する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては未履修科目とみなし、成績評価は不可とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 全履修科目の評定（優、良、可、不可）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に1回（学年末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.ikusei-h.ac.jp
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.ikusei-h.ac.jp

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

成績評価における評価点は、学習状況、出席（2/3 以上）状況または試験及びレポート結果を元に 100 点法を用いて 60 点以上を合格とし、成績評価による学業結果を総合的に判断している。

令和２年度

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 （100 点満点で点数化）					
学科名	こども文化学科	学年	3	学生数	9
成績の分布					
評定	優	良	可	不可（不合格）	
評点	100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下	
人数	3	2	3	1	
下位 1/4 に該当する人数　3 人 下位 1/4 に該当する指標の数値　59 点以下					

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 （100 点満点で点数化）					
学科名	こども幼児科	学年	3	学生数	5
成績の分布					
評定	優	良	可	不可（不合格）	
評点	100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下	
人数	4	1	1	0	
下位 1/4 に該当する人数　2 人 下位 1/4 に該当する指標の数値　59 点以下					